

大野緑と環境を守る会

市町村名 袋井市

地域	大野地区		代表者名	磯部征夫	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (h a)	水田	76.00	対象面積 (h a)	水田	76.00	対象資源	数 量
	畑	19.00		畑	19.00	農用地	95ha
	草地			草地		開水路	8.7km
	計	95.00		計	95.00	パイプライン	8.3km
主要作物	水稻、大根		参加団体	農業者 連合自治会 部農会 自治会 JA 若葉フーズ 1～12組 環境保全委員 睦み会 子供会 婦人協力員 磐田用水東部土地改良区			
構成員	農業者	非農業者	計				
人 数	11	21	32				
主な活動内容	(基礎部分) ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他		(農地・水向上) ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 ・ゲート類等の保守管理の徹底 他		(農村環境向上) ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・啓発活動 ・地域住民等との交流活動 ・景観形成のための施設への植栽等 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃		
地域の概要	本地区は、袋井市の南東部に位置する海岸線に沿った北側に水田、南に砂地の畑が広がる農村地帯です。稲作や麦、施設園芸など灌漑施設はポンプを稼動するパイプラインで効率の良い農業経営が営まれている。しかし、30年を経過した施設は、老朽化と担い手不足となっている。						
目指すべき方向	稲作や施設園芸など幅広い農産物の生産基盤を今後引き継ぐことが、重要なことから本事業を活用して、地域住民に地域を知ってもらい、今やれることから始めることを目指しています。			遊休農地発生状況の把握			
活動の感想	活動については、既存組織への呼びかけ、個々の組織の得意分野を生かした活動区分をうまく分けることが出来た。参加し易い日程調整を行い休日などを利用して、子どもからお年寄りまで参加できる内容考えたことで、多くの住民が参加できた。						
課題	非農家の参加を多くできる計画づくりや既存組織の活動と日程がかさならない日程調整が必要。			施設の機能診断			
抱負・コメント	農村環境に対する理解を深めるための企画を計画して、農業に対する理解と地域資源の保全が、地域にとって素晴らしい財産であることを訴え、一人でも多くの住民が活動に賛同してもらえるものにしていきたい。						
				遊休農地を活用した景観に配慮した作付			